※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	ウェブサイトやアプリケーションソフトウェアを適宜使用						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分や周囲の人の気持ちを前向きにするために「情報」を活用し、表現する方法を学んでいってほしいです。手書きプリントや実習成果物の提出をしてもらいます。発表会（プレゼン）をしてもらいます。教材やプリントなどを参考にしながら、トライ＆エラーを経験する学びを重視し、毎時間の小さな積み重ねを大切にする授業です。

2　学習の到達目標

情報デザインを中心に、１年で履修する「情報Ｉ」の内容についての再定着をめざす。
(1) 効果的なコミュニケーションの実現についての技能を習得するようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉える力を養う。
(3) 情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報デザインの考え方や方法について理解し、表現する技能を身につけること。情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身につけること。	効果的なコミュニケーションを行うために実践、相互評価する。目的や状況に応じて問題を発見・解決する方法について考えること。	情報と情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
第一学期	情報デザインの基礎	基本操作とWeb 検索 文書による表現技法	a:コンピュータやアプリケーションの基本的な操作方法について知識を身につけ操作することができる。 b:身につけた知識を生かして効果的な文書による表現ができる。 c:コンピュータの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	授業観察 レポート 作成されたデータ	レポート 作成されたデータ	授業観察 成果物 提出課題
		情報モラル 情報デザイン マルチメディアの活用 ・Web ページの作成	a:情報をディジタル化することの利点や問題点について知識を身につける。 b:「伝わりやすい表現」「してはいけない表現」がどんなものなのかをしっかり考え判断し、効果的なデザインができる。 c:情報の表し方や処理の仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	授業観察 レポート 作成されたデータ	レポート 作成されたデータ	授業観察 成果物 提出課題
第二学期	表計算の基礎	表計算の表現技法 データの集計と分析	a:データベースについて、身の回りにある情報システムや提供されるサービスについて知識を身につける。 b:情報を蓄積・管理することで、どのようなことが可能になるかを考えることができる。問題解決においての情報の有用性に表現することができる。 c:データベースの役割と概念を理解し、作成と利用に取り組むことが出来る。	授業観察 レポート 作成されたデータ	レポート 作成されたデータに効果的な処理がなされているか	授業観察 成果物 提出課題

※令和４年度以降入学生用

	問題解決の方法	問題解決の方法 ブレーンストーミング KJ 法	a:生活の中で直面するさまざまな問題を解決するための手順や方法を知識として身につける。 b:ブレーンストーミングを実践し、出されたアイデアから問題解決に必要な情報を分析、判断することができる。 c:問題解決の手順を理解し、ワーク、分析に取り組むことが出来る。	授業観察 レポート 作成されたデータ	レポート 作成されたデータ	授業観察 成果物 提出課題
第三学期	情報の発信	プレゼンテーションによる表現技法	a:アクセシビリティやユニバーサルデザインを理解した表現をすることができる。 b:アクセシビリティやユニバーサルデザインなど，人にやさしい技術について学ぶとともに，情報化の課題について考えることができる。 c:アクセシビリティやユニバーサルデザインについて取り組もうとしている。	授業観察 ルーブリック評価表の作成 プレゼンテーション技法 作成されたデータ	効果的なプレゼンテーション技法 作成されたデータ	授業観察 成果物 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度